

「女塾」とは

女性は素晴らしい存在です。

直感力にすぐれ、人を思いやる共感力を持ち、たおやかで愛情深く、美に敏感で、男も女も生み出す奇跡の存在であり、争いを好まない平和主義者——。

私たちは、そんな女性たちが輝くことこそが、男性を輝かせ、この世を明るくするものと信じて疑いません。

行く手に希望の見えない女性たちへ、また、どう生きればよいのか迷っている女性たちへ、自分らしい人生があるはずなのに、と立ち止まってしまう女性たちへ、私たちができることは限りないと考えています。

そばに誰がいようと、人生を歩くのは自分ひとりなのだと感じる時もあるでしょう。

自分らしい人生を求めても答えが見つからず、眠れない夜もあるでしょう。

そんなあなたのそばに、女塾は寄り添いたいと思います。あなたのもうひとりの伴侶のように——。

あなたの人生を輝かせ、上質で満足度の高い人生を生きるとお手伝いをするために誕生した『女塾』。

おひとりおひとりが、自分を「極上の女」だと思っただけが目標です。

さあ、ドアを開けてください。

『女塾』はあなたをお待ちしています——。

塾長あいさつ

私は、33年の長きにわたり、脚本を書く仕事をしてきました。

作り上げてきた人物たちは数知れず、いつのまにか、「女を描かせたら、右に出る者はいない」というありがたいお言葉をいただけるまでになりました。

また、ドラマを作る一方で、どうすれば女性たちが幸せに輝いて生きていけるか、その方法を考え続けてきたような気がします。

それを、ドラマという形を通してだけでなく、直接お伝えしたい……。

そんな強い願いが、『女塾』の塾長という形で実ったのだと思っています。

私自身、仕事に追われながら、男女二人の子供を育て二度の結婚をし、二度目の夫は大河ドラマ『篤姫』執筆中に発病、直後に他界。

そのほか、私の身に起きた様々な体験を知る人たちは私の人生を「波瀾万丈」と評します。

そんな体験や学びの数々が、皆様の生きる知恵となるならこれほど嬉しいことはありません。

よりよく生きるには、「コツ」があります。

私は、「愛あるコツ」と呼んでいます。

それを、講演やセミナーを通して、お伝えしていきたいと思っています。

あなたの人生、あなただけのドラマがイキイキと輝くこと、そのお手伝いができることが私の願いであり、喜びです。



塾長

田渕 久美子

脚本家・作家。島根県生まれ。85年デビュー。

テレビドラマに、『ニュースの女』『殴る女』『ブランド』『定年ゴジラ』

『女神の恋』『美女と男子』『定年女子』など。NHK連続テレビ小説『さくら』

大河ドラマ『篤姫』『江〜姫たちの戦国』。

映画、舞台、落語、狂言、ミュージカルなど、多方面で活躍。

エッセイ『さくら・とっておきの話』『女の道は一本道』『毎日が大河』など。

小説『江』『おね』各上下巻、『美女と男子』、生き方本『女塾』なども。

2009年より、TBS番組審議委員を務める。

(株)プロダクション尾木 所属

オフィシャルウェブサイト
www.tabuchi.website

オフィシャルラインブログ
<http://lineblog.me/kumikotabuchi/>

